

四国地区大学連携によるJGN-X仮想化環境を利用した 情報資産災害対策ネットワークの研究 (JGNX-12023)

研究実施機関

概要/成果 (目標)

研究機関名：徳島大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学

研究の概要：四国地区国立5大学連携による情報資産BCPを実現するための基礎的要件の洗い出しを、JGN-X (VM・ストレージ) を用いた各種実証実験を通じて検討を行う。情報資産のバックアップに必要な技術的要件や情報セキュリティポリシー、SLAなどを議論する。被災時の各種情報システムの代替手段の構築やそれらへのアクセス方法、コストなどの検討を行う。学術ネットワークや地域情報HW利用など、大学が利用可能な技術・資源についても実験・調査し、将来的な大学連携による共同バックアップ機構の実現性等について検討する

成果・目標：各大学から様々な形態でJGN-Xへの接続、仮想サーバを利用した情報資産・ウェブサーバのバックアップ機構について実験を実施。各校における情報資産の外部持ち出しに関する情報セキュリティポリシーの検討等を行う

JGN-Xの活用シーン

